

まちの話題



しめ縄・ミニ門松づくり講習

12月13日、創作館「ゆとり」でしめ縄・ミニ門松づくり講習会を開催しました。しめ縄は小池栄さん(立沢)、ミニ門松は早川秀策さん(乙事)が講師となり、昔ながらの正月飾りを作成しました。しめ縄は300円、ミニ門松は1千200円の材料代で参加された皆さん、立派なしめ縄・ミニ門松が出来ました。

最終区長会



12月9日、役場において最終区長会が行われました。町長は一年間町政に対しご協力いただいたことに對し感謝の意を述べました。また、「合併の意思を問う住民投票」の結果を受け、今後の行財政運営の見通しを説明し、各区へも協力いただけるよう理解を求めました。

年末交通安全運動指導所開設



富士見町交通安全推進協議会及び茅野安協富士見支部では、年末の交通安全運動(12月11日～31日)期間中の12月13日に富士見町交番前で指導所を開設しました。役員は反射材、お守り、ティッシュペーパーの入った袋をドライバーに渡し、安全運転を呼びかけました。

ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



加々見 彊
埼玉県草加市
(葛窪出身)

時代変われど自然は残った

町民のみなさんおめでとう
ございます。

私も富士見を離れ半世紀になりました。町に帰れば、町民のみなさんが行き過ぎた開発をせずに守ってきた、環境のよさを痛感します。春の新緑若葉の匂い、夏の涼しさ、高原の花々、秋の紅葉。冬は山々が素晴らしい、雪山の八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、中央道に見える富士山。空気も野菜も何時でも何を食べても美味しい。

半世紀前といえば4ヶ村合併の時、そして50年、新たな合併問題。世の中が変わっても自然は残っている。大変ではあるが、自分達で守らねば誰が守る。

富士見駅開駅50周年記念として始まった富士見高原名勝探訪駅伝は、今でも私の人生と一緒に歩んでいる。第1回大会に参加した当時は、高原中学を基点に一走は神戸往復、二走は立沢往復、三走は下葛

木まで、四走は葛木から信濃境駅前、五走は小六乙事を通って高原中学までと町中を廻るコースでした。全てが砂利、赤土の道路を走った思い出がよみがえり、今でもその時の区間賞メダルを大切にしています。

昨年草加の仲間35名と空気のおいしさ、真澄酒に誘われ八ヶ岳ジュネスで合宿しました。編笠岳、入笠山の中を走り、皆さん喜んでいました。また、紅葉時の諏訪湖マラソンに参加しています。この大会には富士見町の健脚者もたくさん参加して一緒に走っていました。こんなことを思っている、もう一度、老体にむち打って富士見高原名勝探訪駅伝で走ってみたいくなりました。

原稿を書いている今、記憶をよみがえらせながら、野沢菜漬、沢庵漬、干柿など冬の名産物を作り、楽しんでおります。

(次ページに続く)